WRAPPING WALL　ラッピングウォール特性＆施工時注意項書

■設計者の皆様方へ　※オーダーされる前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。

■施工業者の皆様へ　※施工される前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。

【ラッピングウォール定番製品仕様/特性】

●製品仕様

【ラッピングウォール・Metal TYPE】　不燃認定番号・・・MetalTYPE：銀 / 金 NM-5443（2）　銅 / 黒皮 / 燻 NM-2394

使用基材　：　ケイカル切削板（10/8mm）DSウォール		
長尺サイズ　：　6尺－W303×H1800×t10（0.54㎡）※実加工あり　8尺－W303×H2400×t10（0.72㎡）※実加工あり　大判サイズ　：　W600×H600×t8（0.36㎡）　W600×H1200×t8（0.72㎡）		
基材切削デザイン　：　9切削加工デザイン	仕上げシート　：　メタル柄6色（銀箔/金箔/真鍮/銅/黒皮/燻）	出荷ロット　：　長尺サイズ－3枚　大判サイズ－4枚

【ラッピングウォール・Wood TYPE】　不燃認定番号・・・WoodTYPE：NM-4599

使用基材　；　ケイカル切削板（10mm）DSウォール		
長尺サイズ　：　6尺－W303×H1800×t10（0.54㎡）※実加工あり　8尺－W303×H2400×t10（0.72㎡）※実加工あり		
基材デザイン　；　9切削加工デザイン	仕上げシート　；　木目柄4色（N:ナチュラル・ライトブラウン・ブラウン・ダークブラウン）	出荷ロット；　長尺サイズ－3枚

1. シートの仕上げ範囲（下図参照）：表面及び左右長手方向（上図赤部）及び上下短手方向折り返しあり。特注で四方巻も可能です（不可の場合もございます。ご確認ください）
2. 2400サイズ製品は上下短手方向のシートの折り返しがほとんどありません、現場状況でシーリング等による剥がれ対策が必要です。
3. 防火認定番号について・・ラッピングウォールは、ケイカル板切削加工仕上げ材にシートを組み合わせた製品です。特注仕様として他社シートへ変更した場合でも、適用される認定番号は「各メーカーが取得している不燃下地（ケイカル板）＋シート」の認定番号となります。当社独自の認定番号が新たに付与されるものではございませんので、あらかじめご了承ください。

●製品断面形状＋寸法



⚠【注意】本製品は仕上げ済みのデリケートな製品です。運搬時、保管時、施工時の際は丁寧にお取り扱い下さい

■ご購入後（納品後）一週間以内にご使用（施工）してください。（放置することによりシートのカット部が剥離する恐れがあります）

■製品は切断・カット加工等して使用出来ません。（切断部からシートが剥がれます）※定番サイズ以外のご注文は特注品として承ります。

※コンセント・スイッチなど設置の為配線用の開口をした場合必ずシーリングをしてプレートなどで保護し開口部の剥がれ防止対策をしてください。

■屋外や、直接水のかかる場所では使用出来ません。

■湿度・温度の高い場所、熱源に近い場所、直射日光の当たる場所での使用は変色・変形が生じる可能性がありますので設置しないでください。

施工について

【ＤＳウォール施工手順等】【参考資料】

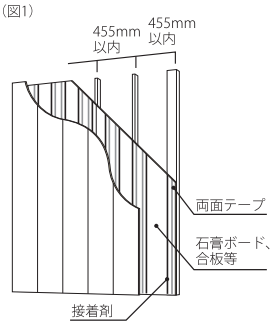
■施工前のご注意

1. 屋内の平らな場所で、床面からの湿気を防止できるよう床面直置きは避け　10 ～ 100 mm 程度の高さで保管してください
2. 水濡れや汚れを防ぐため防水シート等で養生してください
3. 破損しやすい素材です。荷降ろし・搬入・運搬の際は充分注意してください
4. ボード下地上へ施工してください（石膏ボード・合板等）充分な強度が得られます
5. 接着剤・両面テープは推奨品をご使用ください
   接着剤の成分によっては施工後表面にシミとなって浮き出ることが確認されています
6. 下地は乾燥した（含水率 20%以下）材料を使用してください
   水分の多い素材を使用した場合、商品が水分を吸収し、表面のシミとなって現れることが確認されています
7. 水分が多い場所、頻繁に水がかかる場所には施工しないでください

■施工手順

1. 下地を石膏ボード（9.5 ㎜以上）もしくは合板（5.5 ㎜以上）でつくります
   下地は平滑に仕上げます
2. あらかじめ仕上げ材を施工する前に仮並べを行い、数量のチェックと共に位置を確認し墨出しを行います
3. 両面テープと接着剤で施工していきます
   両面テープと接着剤を塗布する箇所のゴミ、ホコリを除去してください
   ビニールクロス等がが施工してある場合は必ず除去したうえで施工してください（図 1）

（図1）



【両面テープ・接着剤併用工法参考手順】

1 下地の確認	被着材の油分・ゴミ・ほこり等を除去、清掃する	5 接着剤	被着材に適量の接着剤を塗布する
2 墨出し割付	被着材に合せて下地に墨出し、割付を行う	6 貼り付け	接着剤塗布後速やかに貼り付けを行い被着材の上から充分加圧する
3 ※プライマー	※下地を考慮し必要な場合プライマー処理を行う	7 ※シーリング	※現場状況を考慮し必要な場合必要部位にシーリング処理を行う
4 両面テープ	所定の位置にテープを貼るローラー等で充分押さえる	8 養生	接着剤が硬化するまで養生する

推奨接着資材（現場手配品/注文可能品）

接着剤	ボンド MPX-7 	仕　様	シリコーン樹脂系エマルジョン
		推奨メーカー	コニシ㈱
		使用方法	TM 工法（パネルタックテープと併用）
		適用範囲	≒170 g / ㎡（0.5 本）
両面テープ	パネルタックテープ 	仕　様	粘着テープ
		推奨メーカー	日東エルマテリアル㈱
		使用方法	TM 工法（MPX-7 と併用）
		適用範囲	3.3m/ ㎡

推奨接着資材は弊社からも購入できます
右の QR コードよりお問い合わせください

施工後のご注意・日常のお手入れ

1．表面に付着した汚れをそのままにしておくと、内部に染み込み落ちにくくなります。汚れが染み込む前にきれいな布等で拭き取ってください。
2．汚れが付着した布や雑巾はかえって汚れをひどくする場合がありますので使用しないでください。
3．汚れが強い場合は、中性洗剤を薄めた溶液で拭き、仕上げに水拭きで洗剤を十分に除去してください。洗剤が残ると変色を招く恐れがあります。
4．酸性・アルカリ性の洗剤、塩素系漂白剤、シンナー、金属タワシ、研磨剤は使用しないでください。

株式会社トーザイクリエイト　東京都渋谷区本町1-21-1　SH小林ビル9F　info@tozaicreate.com　2026.10 改訂